



平成20年9月期 第1四半期財務・業績の概況

平成20年2月5日

上場会社名 加藤産業株式会社 上場取引所 東大
 コード番号 9869 本社所在都道府県 兵庫県
 (URL <http://www.katosangyo.co.jp>)
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 加藤 和弥
 問合せ先責任者 役職名 取締役社長室長
 氏名 中村 順 TEL (0798) 33-7665

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年9月期第1四半期の連結業績(平成19年10月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第1四半期	171,595	7.3	1,306	△2.5	1,552	0.3	926	△18.6
19年9月期第1四半期	159,972	7.0	1,339	△11.3	1,547	△9.6	1,138	0.9
19年9月期	601,057	8.2	4,079	△22.6	5,000	△17.8	3,062	△21.0

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年9月期第1四半期	24	37	—	—
19年9月期第1四半期	29	92	—	—
19年9月期	80	48	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年9月期第1四半期	227,958		64,153		27.8		1,669 92	
19年9月期第1四半期	221,264		65,089		29.1		1,689 15	
19年9月期	206,349		64,746		31.0		1,681 29	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年9月期第1四半期	4,137		△1,103		△685		31,906	
19年9月期第1四半期	738		△650		△498		28,425	
19年9月期	6,322		△3,292		△2,308		29,557	

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
19年9月期第1四半期	—
20年9月期第1四半期	—

3. 平成20年9月期の連結業績予想（平成19年10月1日～平成20年9月30日）
平成19年11月16日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無
（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

（注）上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における食品流通業界は、引き続き食品消費が低調な中、激しい販売競争ならびに物流コストの高騰により、利益確保の難しい環境が続きました。昨期来のメーカー各社の相次ぐ価格改定につきましては、一方で消費の一層の冷え込みへの影響が懸念され、消費者の動向を見極めながら値上げ幅の調整が行われる状況で推移しました。

このような中で当社グループは、価格改定への対応に注力するとともに、営業情報、販売手法の共有化等により営業力の強化を図りました。また諸経費の徹底抑制を図るために、当社支社制の定着ならびにケイ低温フーズ㈱の当社情報システムへの統合着手等、業務の標準化による合理化・効率化を推進しました。

この結果、当第1四半期の連結売上高は、大手得意先との関係強化による取引拡大等により、前年同期に比べ7.3%増加し1,715億95百万円となりました。

利益につきましては、諸経費は概ね計画通りに増加抑制を進めましたが、物流センターフィーの増加および低温商品の価格競争等による粗利益の低下により、営業利益は13億6百万円（前年同期比2.5%減）、経常利益は15億52百万円（前年同期比0.3%増）、そして当第1四半期純利益は法人税等が前期に比べ増加したことにより9億26百万円（前年同期比18.6%減）となり、いずれも計画を若干下回る結果となりました。

今後の業績の見込みとしましては、一層の広がりが見込まれる製品の価格改定に対して適切に対処するとともに、さらなる営業力の強化により粗利益率の向上を図り、また増加傾向にある物流コストをはじめとする諸経費の抑制を徹底することにより、期首計画通りに推移するものと考えております。

また、社会的責任として、内部統制システムの構築および一層の徹底に取り組んでまいります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前年同期と比べ66億93百万円増加し、2,279億58百万円となりました。

流動資産においては、現金及び預金が34億70百万円、売上債権が59億32百万円増加し、固定資産においては、投資有価証券の時価評価などにより30億11百万円減少し、737億77百万円となりました。

流動負債においては、仕入債務が98億35百万円増加しました。固定負債につきましては大きな変動はありません。

純資産は、641億53百万円となりました。その結果、自己資本比率は27.8%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において41億37百万円の収入となりました。その主な要因は税金等調整前四半期純利益17億57百万円、仕入債務の増加222億4百万円による資金の増加および売上債権の減少139億67百万円、たな卸資産の減少53億76百万円等による資金の減少であります。

投資活動においては11億3百万円の支出となりました。その主な要因は有形固定資産および無形固定資産の取得であります。

財務活動においては6億85百万円の支出となりました。その主な要因は配当金の支払であります。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、平成19年度末と比べ23億49百万円増加し、319億6百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における業績予想につきましては、平成19年11月16日に発表いたしました予想と変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、連結財務諸表の作成基準をベースにしつつ、投資家等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
(資産の部)					
流動資産	144,475	154,181	9,705	6.7	131,536
現金及び預金	25,705	29,176			26,830
受取手形及び売掛金	89,485	95,417			81,460
有価証券	2,719	2,729			2,727
たな卸資産	18,128	17,460			12,084
繰延税金資産	345	271			526
未収還付消費税等	220	79			16
その他	8,324	9,505			8,304
貸倒引当金	△454	△459			△412
固定資産	76,789	73,777	△3,011	△3.9	74,812
有形固定資産	37,450	37,850	400	1.1	37,875
建物及び構築物	15,268	15,053			15,237
土地	20,494	20,740			20,752
その他	1,686	2,056			1,885
無形固定資産	3,725	3,611	△113	△3.1	3,613
投資その他の資産	35,613	32,314	△3,298	△9.3	33,323
投資有価証券	30,129	26,177			27,575
差入保証金	1,831	1,866			1,862
繰延税金資産	207	261			238
その他	3,693	4,143			3,793
貸倒引当金	△248	△133			△146
資産合計	221,264	227,958	6,693	3.0	206,349

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
(負債の部)					
流動負債	146,640	156,135	9,494	6.5	133,318
支払手形及び買掛金	130,350	140,186			117,981
短期借入金	2,121	1,045			1,043
未払法人税等	350	557			709
賞与引当金	512	471			982
役員賞与引当金	13	13			41
その他	13,292	13,862			12,559
固定負債	9,534	7,669	△1,865	△19.6	8,284
長期借入金	382	49			107
繰延税金負債	3,181	1,542			2,103
退職給付引当金	5,141	5,211			5,196
役員退職慰労引当金	315	338			341
その他	514	527			533
負債合計	156,175	163,804	7,629	4.9	141,602
(純資産の部)					
株主資本	56,649	58,414	1,765	3.1	58,115
資本金	5,934	5,934			5,934
資本剰余金	8,806	8,806			8,806
利益剰余金	41,977	43,858			43,445
自己株式	△68	△183			△69
評価・換算差額等	7,638	4,996	△2,641	△34.6	5,871
その他有価証券 評価差額金	7,638	4,996			5,871
少数株主持分	801	741	△59	△7.4	759
純資産合計	65,089	64,153	△935	△1.4	64,746
負債純資産合計	221,264	227,958	6,693	3.0	206,349

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年9月期)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
売上高	159,972	171,595	11,622	7.27	601,057
売上原価	148,943	160,202	11,259	7.56	558,073
売上総利益	11,029	11,392	363	3.29	42,983
販売費及び一般管理費	9,689	10,085	396	4.09	38,904
営業利益	1,339	1,306	△32	△2.46	4,079
営業外収益	224	315	90	40.12	1,098
受取利息	27	37			157
受取配当金	78	109			280
不動産賃貸収入	29	86			215
持分法による 投資利益	38	25			205
その他	50	56			238
営業外費用	17	69	52	304.11	176
支払利息	8	3			39
不動産賃貸費用	4	62			123
その他	3	3			13
経常利益	1,547	1,552	5	0.33	5,000
特別利益	275	207	△68	△24.68	397
固定資産売却益	138	72			141
投資有価証券売却益	1	134			80
持分変動損益	136	—			146
貸倒引当金戻入額	—	—			28
特別損失	100	2	△97	△97.03	122
固定資産売却損	0	0			0
固定資産除却損	75	1			91
投資有価証券評価損	24	0			30
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,723	1,757	34	1.99	5,275
法人税、住民税及び 事業税	273	612			1,974
法人税等調整額	288	228			253
少数株主利益	22	—			—
少数株主損失	—	9			16
四半期(当期) 純利益	1,138	926	△211	△18.60	3,062

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年9月期)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,723	1,757	5,275
減価償却費	658	663	2,733
投資有価証券評価損	24	0	30
貸倒引当金の増加額(△減少額)	△9	34	△153
退職給付引当金の増加額(△減少額)	15	14	70
役員退職慰労引当金の増加額(△減少額)	△21	△3	4
賞与引当金の増加額(△減少額)	△525	△511	△55
役員賞与引当金の増加額(△減少額)	△33	△28	△5
受取利息及び受取配当金	△106	△146	△438
支払利息	8	3	39
持分法による投資損益	△38	△25	△205
投資有価証券売却損益	△1	△134	△80
売上債権の減少額(△増加額)	△9,992	△13,967	△1,883
たな卸資産の減少額(△増加額)	△4,251	△5,376	1,793
仕入債務の増加額(△減少額)	13,623	22,204	1,255
その他	600	205	17
小計	1,674	4,690	8,397
利息及び配当金の受取額	129	153	452
利息の支払額	△33	△45	△31
法人税等の支払額	△1,032	△661	△2,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	738	4,137	6,322
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△450	△603	△1,951
有形固定資産の売却による収入	194	100	201
無形固定資産の取得による支出	△645	△299	△1,559
投資有価証券の取得による支出	△50	△50	△1,834
投資有価証券の売却による収入	307	171	1,760
貸付けによる支出	△101	△40	△231
貸付金の回収による収入	75	20	242
その他	19	△401	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△650	△1,103	△3,292
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額(△純減少額)	121	27	△909
長期借入による収入	—	—	290
長期借入金の返済による支出	△105	△83	△716
配当金の支払額	△513	△513	△970
自己株式の取得による支出	△0	△113	△1
その他	△1	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△498	△685	△2,308
4. 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△411	2,349	720
5. 現金及び現金同等物の期首残高	28,258	29,557	28,258
6. 合併による現金及び現金同等物の増加高	578	—	578
7. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	28,425	31,906	29,557

連結売上高構成比

(1) 商品別

区 分	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)		
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
要冷品	24,408	15.3	24,737	14.4	1.3
インスタント (缶詰・レトルトを含む)	33,643	21.0	38,301	22.3	13.8
乾物・穀類	9,663	6.0	9,827	5.7	1.7
飲料	23,675	14.8	28,709	16.7	21.3
酒類	15,015	9.4	15,730	9.2	4.8
嗜好品	21,018	13.1	20,015	11.7	△4.8
調味料	25,543	16.0	27,304	15.9	6.9
その他	7,003	4.4	6,969	4.1	△0.5
合 計	159,972	100.0	171,595	100.0	7.3

(2) 業態別

区 分	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)		
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
大手スーパー	34,871	21.8	41,142	24.0	18.0
地域大手スーパー	62,308	39.0	67,258	39.2	7.9
単独スーパー・小売店	19,713	12.3	17,636	10.3	△10.5
コンビニエンス	20,387	12.7	22,991	13.4	12.8
卸問屋	15,525	9.7	15,107	8.8	△2.7
その他	7,166	4.5	7,458	4.3	4.1
合 計	159,972	100.0	171,595	100.0	7.3